

ISSN 1882-0468

ISSN-L 1882-0468

# NDL 書誌情報ニュースレター

2018 年 1 号(通号 44 号)

## 目次

「24 条資料」の書誌データ—官庁出版物の目録作業における工夫 (国内資料課 伊東晶子)	1
第 42 回 ISSN センター長会議報告—ISSN 国際センターのサービス向上 (逐次刊行物・特別資料課 柳澤健太郎)	7
図書館の目録データの Linked Data 化に向けた取組み—MARC における URI の使用 (収集・書誌調整課 柴田洋子)	10
コラム:一生ケンメイ! (3)件名と件名のつながり—言葉の地図の作り方 (国内資料課 大久保玲)	14
コラム:書誌データ利活用(13)—NDL-Bib を始めました!! (収集・書誌調整課 田村浩一)	20
お知らせ:平成 29 年度書誌調整連絡会議を開催しました (収集・書誌調整課)	24
掲載情報紹介	26

## 「24 条資料」の書誌データ—官庁出版物の目録作業における工夫

### 【はじめに—24 条資料とは】

皆さんは、「24」という数字から、どのようなものを思い浮かべるでしょうか。本好きな方ならば「二十四の瞳」を思い浮かべるかもしれません。米国の TV ドラマ「24」もありますね。国立国会図書館の整理業務にあたる職員にとって、「24」といえば官庁出版物を指しています。

官庁出版物とは、国・地方公共団体の諸機関やそれらに準ずる法人が発行した出版物のことです。国立国会図書館法には、それらの出版物の納入を定めた条文があり、これが「第 24 条」であることから、当館では官庁出版物を「24 条資料」（時には、単に「24 条」）と呼んでいるのです[1]。

本稿では、この 24 条資料ならではの目録作業上のさまざまな工夫について、図書や小冊子を例に紹介します。

### 【さまざまな 24 条資料】

24 条資料にはさまざまなものがあります。行政の計画書や報告書をはじめとして、「〇〇県史」のように分厚くて何分冊にもなる資料もあれば、各地方公共団体から家庭向けに配布されるパンフレット類もあります。また、地方公共団体の教育委員会が発行した、小学生向けの社会科の副読本や地域の偉人の漫画物語などもあります。

#### (1) 白書の原局版—いろいろ補記しています

こちらの写真をご覧ください。

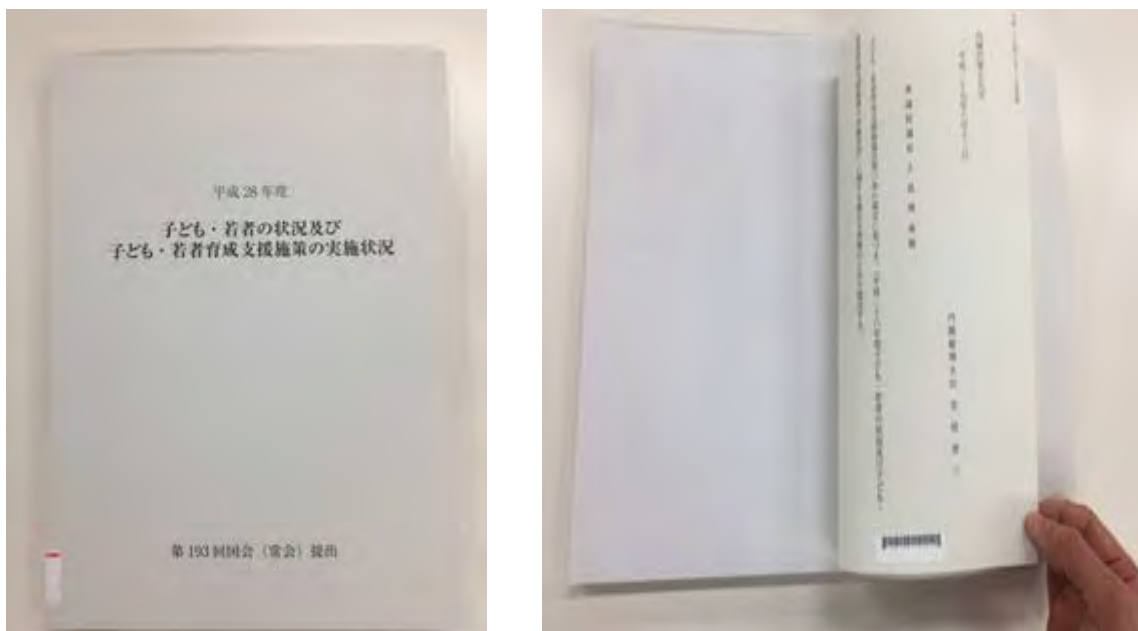


図 1 白書の原局版の例

この資料は、内閣府が作成し、国会に提出するための資料で、一般的に「子ども・若者白書」と呼ばれるものの原局版[2]です。これも 24 条資料です。この資料には奥付がなく、著者や編者、出版年月すら資料本体に記載がありません。

白書とは、日本では一般的に各省庁が発行する各分野に関する報告書のことを指します。大きな書店などで見

かける白書は、市販版で、表紙にはカラー写真などがあしらわれ、奥付には価格や発行年月などが明記されています。一方、原局版は閣議や国会等に提出する段階のもので、市販版と内容はほぼ同一ですが、体裁が異なり、真っ白な表紙にはタイトルと、「第〇回国会提出」などの記載があるのみで(図1左)、奥付のページはないことが多いです。

目録作業では、目録規則[3]に基づき、作業対象資料のタイトルや著者名、出版年といった情報を、原則としてその資料本体の標題紙や奥付などの決まった情報源(所定の情報源)からそのまま転記します。しかし、この例に挙げた白書には、奥付もなく、必須の書誌的事項である出版者が所定の情報源に表示されていません。

このように、資料本体に所定の情報源がない場合や、所定の情報源に必要な情報がない場合には、目録規則では、参考資料などから必要な情報を集めて書誌的事項を記録するとしています[4]。そして、その部分を角がっこで囲んで、目録作業者が「補記」[5]したものであることを示します。

この資料には、衆議院議長宛の内閣府からの送付状が挟まれており(図1右)、こういった資料本体以外の情報を参考にして出版者を判断します。

また、出版年についても同様に、送付状や資料の前書きなどから推定して記録し、やはり角がっこで囲んで補記したことを示しています。

完成した書誌データは、図2のようになります。「[内閣府]」という出版者、「[2017]」という出版年などが、目録作業者が補記した部分です(図2赤枠)。

資料種別	図書
請求記号	AZ-549-L36
タイトル	子ども・若者の状況及び子ども・若者育成支援施策の実施状況 平成28年度
タイトルよみ	コドモ・ワカモノノジョウキョウ オヨビ コドモ・ワカモノイクセイシエンシサクノジッシ ジョウキョウ、ヘイセイ28ネンド
出版事項	[東京]: [内閣府], [2017]
形態/付属資料	259p; 30cm + 1枚.
注記	第193回国会(常会)提出
全国書誌番号	22934923
団体著者標目	内閣府
普通件名	青少年問題 -- 日本 青少年教育 -- 日本
NDLC	AZ-549
NDC(10)	367.61
本文の言語	jpn
国名コード	ja
書誌ID	028447438

図2 白書の原局版の書誌データ例[6]

## (2) 展覧会図録—著者標目を工夫しています

24条資料には、国立や県立、市立美術館の展覧会の図録も多くあります。これらの目録作業では、著者標目の選定において工夫をしています。

図3の書誌データをご覧ください。これは、富山県砺波市の美術館が開館20周年記念展覧会に合わせて発行した図録の書誌データです。

資料種別	図書
請求記号	KB16-L1174
タイトル	宮脇綾子アプリケの世界：布とあそび日々よるこぶ：砺波市美術館閉館20周年記念：2017となみチューリップフェア特別展 /
タイトルよみ	ミヤワキ アヤコ アプリケ ノ セカイ：ヌト アンビ ヒビ ヨロコブ：トナミシ ビジュツカン カイカン 20 シュウネン キネン：2017 トナミ チューリップ フェア トクベツテン。
責任表示	宮脇綾子 [作].
出版事項	砺波：砺波市美術館, 2017.4.
形態/付属資料	75p ; 26cm.
注記	会期・会場: 2017年4月8日-6月4日 砺波市美術館1階企画展示室、2階常設展示室1.
注記	年譜あり.
全国書誌番号	22925080
個人著者標目	宮脇, 綾子, 1905-1995    ミヤワキ, アヤコ
団体著者標目	砺波市美術館
NDLC	KB16 KB441
NDC(10)	753.7087
本文の言語	jpn
国名コード	ja
書誌ID	028219859

図3 展覧会図録の書誌データ例

美術館で個人の芸術家の展覧会を開催すると、芸術家の名は「宮脇綾子アプリケの世界」のように、展覧会の名称そのものの一部となることが多く、図録の奥付などに、わざわざ「作者 宮脇綾子」「宮脇綾子 作」などと表示されることはあまりありません。

しかし、芸術家名はこの図録を探し求める利用者にとっては重要な情報です。このため、タイトル中にある芸術家名を、「責任表示」[7]として記録し[8]、また記録した芸術家名に続けて、その役割を示す言葉を補記します。さらに、この芸術家名が検索の際のアクセス・ポイントとなるように著者標目とします。

また、発行元である美術館自体も、この図録の成立に不可欠な役割を果たした団体と考えられます。この展覧会が企画・開催されなければ、その図録も発行されることはなかったでしょう。このため、美術館についても、検索のためのアクセス・ポイントとなるよう、著者標目としています[9]。

このように、「□□美術館」「芸術家△△」さんといった、展覧会の図録を探すキーワードとなるような言葉で、利用者の皆さんが検索できるようにしています。

こうした役割を示す言葉の補記や、発行元を著者標目とすることは、当館が『[国立国会図書館「日本目録規則1987年版改訂3版」適用細則](#)』（以下、適用細則といいます）を定めて行っています。当館では日本目録規則の本則を原則として採用していますが、規則を変更している部分や、別法を採用する部分もあります。それらを適用細則として定め、当館ホームページで公開しています。

### (3) 遺跡発掘調査報告書—大量の資料を一つのNDCに

皆さんのお住まいの地域で、新しく建築物を建てる際に、「〇〇時代の遺跡が出た」などと話題になったことはありませんか？建築や区画整理の際に遺跡が発見されると、発掘調査が行われ、報告書が作成されます[10]。遺跡発掘調査報告書は、文化庁が報告書作成の具体的な手順や体裁を例示していることもあり[11]、多くはこの体裁に沿った定型的な資料です。報告書には発掘の概要、出土品の記録、簡単な考察などが記載され、多くは最後に抄録がついています。遺跡発掘調査報告書の当館への納入点数は非常に多く、2016年発行のものでは1,500件ほどあり[12]、その8割が国や地方公共団体からの24条資料です。

このように、遺跡発掘調査報告書は資料数が多いこと、考古学上の研究書というよりは定型的な報告資料であることをふまえ、当館では日本十進分類法（NDC）の分類記号付与を効率的に行えるよう工夫をしています。

NDCでは、個々の遺跡・遺物に関する資料は、それぞれの地域の歴史に分類するのが原則です。原則に従えば、埼玉県の遺跡資料は「213.4」、静岡県の遺跡資料は「215.4」となります。しかし、当館では遺跡発掘調査報告書には、専用の分類記号を独自に設けて、遺跡・遺物の地域にかかわらず、単一の記号「210.0254」を付与しています（図4）。このような運用は、NDCを当館で適用するに当たっての指針と分類表の解釈をまとめた「分類基準」で定めています[13]。

**210.0254 発掘調査報告書**  
 上記の項を新設する；地域・時代にかかわらず、発掘調査報告書は、すべてここに収める

図4 「210.0254 発掘調査報告書」の分類基準—当館のNDC新訂10版分類基準より

資料種別	図書
請求記号	GB121-L8035
タイトル	K441遺跡.第3次調査 /
タイトルよみ	K441 イセキ.ダイ3ジ チョウサ.
責任表示	札幌市埋蔵文化財センター 編.
出版事項	札幌：札幌市教育委員会, 2017.3.
形態/付属資料	4, 40p；30cm.
シリーズ	札幌市文化財調査報告書；104
全国書誌番号	22890770
団体著者標目	札幌市埋蔵文化財センター
地名件名	札幌市 -- 遺跡・遺物
NDLC	GB121
<b>NDC(10)</b>	<b>210.0254</b>
本文の言語	jpn
国名コード	ja
書誌ID	028159874

図5 遺跡発掘調査報告書の書誌データ例

図5の書誌データは2017年発行の遺跡発掘調査報告書の例です。分類基準に従い、NDC分類記号「210.0254」が付与されています（図5赤枠）。このように、単一の分類記号を付与することで、分類作業の効率化を図るとともに、遺跡発掘調査報告書を一括して検索できるというメリットも与えています。この分類記号では地域性を表現できなくなりますが、併せて付与される地名件名によって、どの地域の遺跡であるかが明確となり、地名で検索できるようになります。図5の『K441遺跡.第3次調査』の書誌データでは「地名件名 札幌市—遺跡・遺物」と記録されています。

**(4) 小冊子—納入点数が多いため、簡易な形態に合わせた整理内容としています**

小冊子とは、ユネスコの定義によれば、表紙を除き、5ページ以上48ページ以下の、完結した製本していない非定期刊行物を指す[14]とされます。当館でも原則として、5ページ以上48ページ以下の非定期刊行物を、小冊子として取扱います。

皆様のご自宅に「〇〇市ごみの分別と収集方法」のような冊子がありますか？また、博物館などを見学した

際に、数ページの、または折り畳み式のガイドを手にとったりすることはないでしょうか。当館に納入される24条資料には、こうした小冊子類が多く含まれます。

当館では、収集する膨大な出版物についての確かつ迅速に書誌データを作成し提供するために、資料の特徴や提供の目的などによって書誌データ水準を定めています。この中で、官庁や地方公共団体の発行した小冊子に対しては、「タイトル標目は作成するが、著者標目・件名標目・NDC分類標目を作成しない」としています。また、[国立国会図書館分類表 \(NDLC\)](#) の分類標目は、資料の内容にかかわらず、中央官庁からの小冊子には「Y111」を、都道府県・市区町村からの小冊子には「Y121」を、それぞれ付与しています。こうした小冊子の類では、内容がタイトルに明確に表れ、出版者も地方公共団体そのものであることが多いため、地方公共団体の名称などをキーワードとして入力すれば検索することができます。

資料種別	図書
請求記号	Y121-L13967
タイトル	水道・くらしのガイド 保存版 /
タイトルよみ	スイドウ・クラシノガイド : ホゾンパン.
責任表示	東京都水道局サービス推進部サービス推進課 編
出版事項	[東京] 東京都水道局サービス推進部サービス推進課 2017.5.
形態/付属資料	37p ; 21cm.
全国書誌番号	22959408
NDLC	Y121
本文の言語	jpn
国名コード	ja
書誌ID	028571470

図6 小冊子の書誌データ例

### 【おわりに】

国立国会図書館に納入された24条資料は、政府活動に関する国政審議にも、また一般の方の調査研究にも利用されます。また、24条資料に限らず、当館に納入されたすべての資料は、永年保存され、将来にわたって活用されていきます。資料がその情報を求める人のもとに確実に届けられるよう、これからも書誌データに的確な情報を記録する工夫をしつつ、かつ効率性も追求しながら目録作業を進めていきたいと思っています。

伊東 晶子

(いとう あきこ 国内資料課)

[1] 民間出版物の納入については、国立国会図書館法の第25条で規定しています。

[2] 白書の原局版と市販版について、詳しくは当館の[「リサーチ・ナビ」の「白書の調べ方」ページ](#)をご覧ください。市販版の白書は、民間会社が発行者となるものが多く、24条資料ではないものもありますが、一般に流通しない原局版の白書はほとんどが24条資料として納入されています。

[3] 当館では2018年3月現在、『日本目録規則 1987年版改訂3版』（日本図書館協会目録委員会編、日本図書館協会、2006）を適用しています。

[4] 日本目録規則には、「2.0.3.2B 記述対象とする図書によるべき情報源がない場合は、参考資料をはじめとして、可能な限りの情報源を調査して、必要な書誌的事項に関する情報を入手し、これを記録する。」と定められています。

- 日本図書館協会目録委員会編. 日本目録規則. 1987年版改訂3版, 日本図書館協会, 2006, p. 57.
- [5] 日本目録規則の用語解説には、「補記」について、「書誌記述において、規定の情報源にはない、あるいは資料に表示されていない事項を付加して記録すること。補記事項は角がっこに入れて示す。」とあります。
- 日本図書館協会目録委員会編. 日本目録規則. 1987年版改訂3版, 日本図書館協会, 2006, p. 420.
- [6] 図1以下の書誌データの画面は、当館所蔵資料の書誌データをダウンロードできる「[国立国会図書館書誌提供サービス \(NDL-Bib\)](#)」によります。
- [7] 日本目録規則によると、「責任表示」とは、「著作の知的・芸術的内容の創造, ないしは具現（演奏等を含む）に責任を有するか、これに寄与するところがある, 個人・団体に関する表示。」のことで。
- 日本図書館協会目録委員会編. 日本目録規則. 1987年版改訂3版, 日本図書館協会, 2006, p. 412.
- [8] 日本目録規則には、「2.1.5.1.A 図書のタイトル中に表示されている著者名等は、責任表示としても記録する。」と定められています。
- 日本図書館協会目録委員会編. 日本目録規則. 1987年版改訂3版, 日本図書館協会, 2006, p. 66.
- [9] 日本目録規則の著者標目の章に「23.1.0.3 (標目とする出版者) 必要ならば、出版・頒布に関する事項に記録されている出版者は、著者標目とする。」と定められており、当館の適用細則ではさらに「著作の成立に主体的に関与した団体は、標目とする。」としています。
- [10] 文化庁. “埋蔵文化財”. <http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/maizo.html>, (参照 2018-02-23).
- [11] 文化庁文化財部記念物課監修. 国立文化財機構奈良文化財研究所編. 発掘調査のてびき. 整理・報告書編, 同成社, 2016. 10, p. 160.
- [12] 資料数は2018年2月16日現在。
- [13] 国立国会図書館. “分類・件名 (NDLC、NDLSH など)”. [http://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification\\_subject/index.html#ndc](http://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification_subject/index.html#ndc), (参照 2018-02-23).
- [14] 図書館情報学用語辞典「パンフレット」の項より。
- 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第4版, 日本図書館協会, 2013 p. 203.

## 第42回 ISSN センター長会議報告—ISSN 国際センターのサービス向上

### 【はじめに】

第42回 ISSN センター長会議[1]が、2017年11月7日から10日まで、モロッコ王国の首都ラバトにあるモロッコ王国王立図書館 (Bibliothèque nationale du Royaume du Maroc) で開催されました。29か国から46名が参加したほか、前回に続きウェブ会議での参加(3か国3名)もありました。なお、アフリカでの開催は、2008年にチュニジア共和国のチュニスで開催された第33回会議以来9年ぶりとなります。今年の議題からおもなものを報告します。



モロッコ王国王立図書館

### 1. ISSN 規格改訂の動き

前回の会議[2]以降、ISSN 規格 ([ISO 3297 : 2007](#)) については、「ISSN を無料で付与する」という規定が削除された第5版が2017年10月に発行されました[3]。

さらに、第6版に向けた定期的な見直し (Systematic Review) について、ISSN 国際センター (以下、国際センターといいます) から現状報告がありました。これまでのおもな動きは、次の6点です。

- (1) 2016年から2017年にかけて、見直しの可否やコンビーナ (WG の責任者) の選定等について4回の投票を実施
- (2) 国際標準化機構第46専門委員会識別と記述分科会 (ISO/TC46/SC9) による第5作業グループ (WG5) を設置
- (3) さまざまな分野の専門家をWG5に採用
- (4) 規格の適用範囲に変更がない旨を確認
- (5) 改訂期間を第5版の発行から36か月以内とすることを確認
- (6) 国際センター長のガエル・ベケ氏 (Gaëlle Béquet) がコンビーナに就任

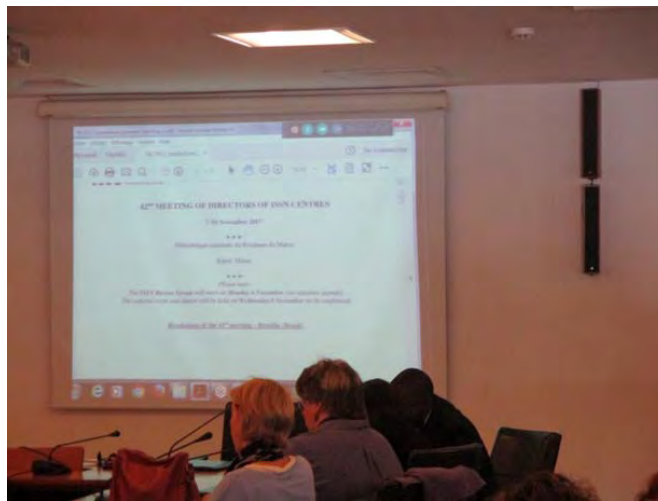
これを受けて、現在、月次の遠隔会議開催、ISSN 番号の使用者への需要調査、WG5 の専門家からの意見の集約という三つの作業が行われています。そして、2018年5月に予定されている ISO/TC46 総会の後に、ISO/TC46/SC9



による委員会原案を SC9 の P メンバー（積極的参加メンバー）の投票にかけることになっています（全 6 段階ある改訂手続きのうち第 3 段階）。

規格の改訂内容の詳細には触れられませんが、鍵となる項目として次の 5 点が挙げられました。

- (1) ISSN 付与の粒度（改題等の関係にある複数のタイトルを包括する「meta-ISSN」（仮称）や、逐次刊行物の号・記事の識別における ISSN の活用の可能性）
- (2) 電子的な逐次刊行物および継続資料の定義の見直し
- (3) ISSN メタデータ[4]の改訂・調整
- (4) Linked Data 環境下での ISSN 番号の活用
- (5) ISO 中央事務局と ISSN 登録機関としての国際センターとの関係



会場の様子

## 2. 国際センターの新サービス

国際センターでは 2018 年 1 月から、新たなサービスを開始しました。2017 年 12 月まで、ISSN 付与済み書誌データのデータベース ISSN International Register に搭載されたデータの利用には、利用者 ID の交付を受けるか、利用者としての IP アドレスを登録することが必要で、すべてのサービスが有料でした。これに対して 2018 年 1 月からは、ISSN International Register のウェブ上のインターフェースである [ISSN Portal](#) を通じて、書誌データの一部の項目が無料かつ利用登録不要の形で公開されました。

今回無料公開の対象となったのは、完成した書誌データのうち、書誌的事項と管理的メタデータの一部です。この中で検索キーとなる項目は、ISSN、ISSN-L[5]、キータイトル、参照タイトル、出版国、媒体等です。検索結果には、ISSN、ISSN-L、キータイトル、本タイトル、出版国、媒体、URL、管轄するセンター、最終更新日が表示されます[6]。ISSN Portal のトップページにある世界地図からは、出版国単位での検索も可能です。

一方、ISSN Portal の有料サービスでは、ISSN International Register に収載されているすべての書誌データを検索・利用できます。その中には未完成の書誌データも含まれています。また、出版者や分類・言語等を含む、すべての書誌データ項目を検索・利用することができます。データダウンロードの面では、Linked Data[7]として、RDF 形式でのデータを API によって検索・ダウンロードすることができます。さらに、2018 年 2 月時点では未実装ですが、今後の改良により、地図からの出版地検索で、国単位ではなく都市単位で検索できるようになるほか、位置情報やインパクトファクターなど、ISSN International Register 以外の情報源から取得した情報と

統合されたデータも利用できるようになる見込みです。

また、ISSN Portal とは別の話題として、オープンアクセスのオンライン学術情報資源（学術雑誌、会議録、学術リポジトリ等）の書誌データを提供する [ROAD\(Directory of Open Access scholarly Resources\)](#) [8]について、将来は ISSN International Register にデータが統合される予定だという情報がありました。

## 【おわりに】

今回の第43回 ISSN センター長会議は2018年9月に米国ワシントンD.C. で、第44回会議は2019年にインドのニューデリーで開催される予定です。次回会議までには ISSN Portal でのサービスも整備され、規格の改訂作業も本格化するものと思われます。改訂手続の進捗状況、さらに ISBD をはじめとする ISSN に影響する国際標準等の改訂についても、引き続き注視していきます。

柳澤 健太郎

(やなぎさわ けんたろう 逐次刊行物・特別資料課)

[1] ISSN ネットワークの各国センター長が年に1度集まり、重要事項を検討する会議が「ISSN センター長会議」です。ISSN 日本センターについては、以下のページをご覧ください。

国立国会図書館. “ISSN 日本センター”. <http://www.ndl.go.jp/jp/data/issn/index.html#anchor07>, (参照 2018-02-19).

[2] 前回の会議の参加報告は、本誌2017年1号(通号40号)をご覧ください。

柳澤健太郎. 第41回 ISSN センター長会議参加報告—ISSN 規格改訂と逐次刊行物目録標準化の動向, [http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_10311254\\_po\\_2017\\_1.pdf?contentNo=1#page=12](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_10311254_po_2017_1.pdf?contentNo=1#page=12), (参照 2018-02-19).

[3] ISSN 規格の第5版は、国際標準化機構 (ISO) が有償で頒布しています。

ISO/TC46/SC9. “ISO3297 : 2017”. <https://www.iso.org/standard/73322.html>, (参照 2018-02-19).

[4] 現在の規定は、JIS X 0306 : 2012 の「付属書 B メタデータ」で確認できます。ISSN、タイトル、出版者等が含まれます。

[5] 本誌2010年1号(通号12号)を参照。

逐次刊行物・特別資料課整理係. ISSN-L をご利用ください!

[http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_1166400\\_po\\_2010\\_1.pdf?contentNo=1#page=4](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_1166400_po_2010_1.pdf?contentNo=1#page=4), (参照 2018-02-19).

[6] たとえば “CDNLAO Newsletter” (ISSN : 1344-722X) のデータは、次の URL のとおりです。

<https://portal.issn.org/resource/issn/1344-722X>, (参照 2018-02-19).

[7] 以下の「Linked Data/Linked Open Data」の項に説明があります。

電子情報部電子情報流通課標準化推進係. “【参考】メタデータ関連用語集”.

[http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/standards/meta/glossary.html#Linked\\_Data](http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/standards/meta/glossary.html#Linked_Data), (参照 2018-02-19).

[8] ROAD は、ユネスコの支援を受けて国際センターが提供しているもので、無料で公開されています。以下の「ROAD について」の項をご覧ください。

国立国会図書館. “ISSN 日本センター”. <http://www.ndl.go.jp/jp/data/issn/index.html#anchor16>, (参照 2018-02-19).

## 図書館の目録データの Linked Data 化に向けた取組み—MARC における URI の使用

### 【はじめに】

世界の図書館コミュニティでは、目録データをウェブで再利用・共有しやすくするために、「[リンクするデータ](#)」([Linked Data](#))への対応が進んでいます。その取組みの一つとして、Linked Data の特性を効果的に反映できる書誌フレームワーク“[BIBFRAME](#)”の開発が、米国議会図書館(LC)を中心に進められています。BIBFRAME は、MARC フォーマットに替わるものと期待されていますが、完成時期は未定です。その一方で、MARC フォーマットの仕様や入力方法を改善することで、従来の目録データを Linked Data 化した際に、よりウェブに適したデータとして提供できるように備えておこうとする動きも見られます。本稿では、その一例として、米国国立医学図書館(NLM)による、MARC 21 形式の書誌データに[医学件名標目表 \(Medical Subject Headings; MeSH\)](#)の URI を埋め込む取組みを紹介します[1]。

### 【取組みの背景】

NLM は、2012 年に、BIBFRAME の“Early Experimenters”としてデータモデルの実用可能性に関する調査等に参加して以来、目録データの Linked Data 化に対して積極的に取り組んできました。その経験をふまえ、2017 年 9 月に RDF (Resource Description Framework) 形式の MeSH を、Linked Data として公開しました[2]。MeSH は、NLM が維持管理している生物学や医学用語を対象としたシソーラスです。NLM の書誌データでは、件名標目として使われています[3]。

Linked Data 化された MeSH の各用語には、固有の URI が付与されています。NLM は、将来的な書誌データの Linked Data 化を見据え、その準備段階として、MARC 形式の書誌データに MeSH の URI を埋め込むことを決めました。

この取組みのもう一つの背景として、NLM が、国際的な共同目録の活動に積極的に関わっていることが挙げられます。NLM は、LC 等による国際的な共同目録プログラム (Program for Cooperative Cataloging; PCC) に参加しています。PCC は、図書館の目録データをウェブに適したデータへ効率的に移行するための取組みを主導しています。PCC の中でも、[MARC における URI に関するタスクグループ \(PCC Task Group on URIs in MARC\)](#)は、MARC 形式の書誌データ・典拠データにおける URI の使用に関するガイドラインの策定や、MARC 21 の仕様改訂に取り組んでいます。NLM は、このタスクグループに参加しており、MARC 形式の書誌データや典拠データにおける各種 URI の自動付与プログラムの開発テストに協力していました。その結果をふまえ、実際の書誌データに対しても MeSH の URI を追加することを決定しました。

### 【URI を付与する前に：MARC 21 の書誌データの構造化】

NLM では、書誌データの入力フォーマットに MARC 21 を使用しています。2015 年までは、MeSH を MARC 21 のフィールド 650 に記録していました。より詳細には、主標目 (650\$a) に対して、各種の統制語 (地名、出版物のタイプ等) をサブフィールドで区別し、連結して記録していました (図 1 参照)。

**650 主題用語(主標目)(\$a)、副標目(\$x)、地名(\$z)、出版物のタイプ(\$v)**

↓

```

650 12 $a Acquired Immunodeficiency Syndrome $x ethnology $z Africa $v Congresses
650 12 $a Acquired Immunodeficiency Syndrome $x ethnology $z Caribbean Region $v Congresses
650 22 $a Cross Cultural Comparison $z Africa $v Congresses
650 22 $a Cross Cultural Comparison $z Caribbean Region $v Congresses
650 22 $a Health Policy $z Africa $v Congresses
650 22 $a Health Policy $z Caribbean Region $v Congresses
    
```

図1 NLM の MARC 形式の書誌データに付与された MeSH の例 (2015 年以前) [4]

2016 年以降は、MARC 21 の主題アクセスのフィールド 650 (主標目)、651 (地名) および 655 (出版物のタイプ、ジャンル・形式用語に相当。) の各サブフィールド\$a に、MeSH の用語 (文字列) を件名標目として記録しています。また、副標目 (サブフィールド\$x) と組み合わせられる統制語の種類を限定しています (図2 参照)。こうした書誌データの構造化により、各件名標目に一意に対応する MeSH の URI を機械的に追加しやすくなりました。

```

650 12 $a Acquired Immunodeficiency Syndrome $x ethnology
650 22 $a Cross Cultural Comparison
650 22 $a Health Policy
651 _2 $a Africa $x ethnology
651 _2 $a Caribbean Region $x ethnology
655 _2 $a Congresses
    
```

↑ **650 主題用語(主標目)(\$a)と副標目(\$x)**

← **651 地名(\$a)と副標目(\$x)**

← **655 出版物のタイプ**

図2 NLM の MARC 形式の書誌データに付与された MeSH の例 (2016 年以降) [5]

**【書誌データに MeSH の URI を追加する方法】**

書誌データに MeSH の URI を追加する具体的な方法は、以下の観点で検討されました。

- ・該当するフィールドに MeSH の URI を機械的に追加するためのシステム関係の費用 (既存のプログラムを使用する場合と独自に開発する場合の費用対効果)
- ・既存の書誌データと新規に作成する書誌データの両方に対応可能なプログラムの要件
- ・作業対象となる書誌データの件数等

検討した結果、独自のプログラムを開発し、既存の書誌データの該当するフィールドに、サブフィールド\$0 とその値 (MeSH の URI) を一括で追加することが決まりました。

作業は 2 段階に分けて実施されました。まずは、典拠データについて、すでに記録されている MeSH の ID を基

に、“<http://id.nlm.nih.gov/mesh/>” から始まる URI を機械的に付与しました。つぎに、書誌データに付与された件名標目を典拠データの標目と照合した結果を基に、各書誌データの件名標目に対応する MeSH の URI を追加する方法がとられました。

また、新規作成または更新した書誌データに対しても、同様に、MeSH の URI を付与します。ただし、システムへの影響等を考慮し、上述の作業とおおむね同様の処理を、週次で行うことも決まりました。

### 【取組みの成果と今後】

NLM では、今回の取組みを、今後書誌データをウェブで広く提供していく際に必要なプロセスの第一歩となったと評価しています。また、国立図書館として先進的に取組み、その経験や知見を広くフィードバックすることで、他の図書館等が今後 Linked Data 化を行う際にサポートできるとも考えています。

また、NLM では、自館で作成した書誌データを、OCLC や LC 等のさまざまな機関に MARC 21 形式等で提供しています。各機関では、NLM の書誌データを利用するにあたり、新たに加わったサブフィールド \$0 とその値 (MeSH の URI) がそれぞれのシステムや OPAC の表示等に及ぼす影響について検討する必要が生じました。今後は、データ利用機関からのフィードバックや、MARC 形式の書誌データ・典拠データに URI を埋め込む取組みに関する PCC の動向等をふまえ、書誌データの著者標目等にも URI を追加することを検討する予定です。また、今回は NLM 自身が維持管理している MeSH の URI を対象に実施しましたが、今後は、外部の語彙や URI を書誌データに追加することも検討していく予定です。

### 【おわりに】

こうした MARC 形式の書誌データ・典拠データに URI を埋め込む取組みが各図書館で進むことで、今後のこれらのデータを BIBFRAME 等の Linked Data に対応した形式へ移行する際に、その作業をより円滑に進めることができると考えられます。また、Linked Data として公開された際に、さまざまな URI が含まれているデータは、機械可読性が高く、よりリンクや共有がされやすくなります。図書館の書誌データや典拠データが他機関のデータとリンクされることで、さまざまな場面で利用される機会が増え、その価値が高まることが期待されます。今後も欧米を中心にこうした取組みが進んでいく中で、その動向を引き続き注視していきたいと思っております。

柴田 洋子

(しばた ようこ 収集・書誌調整課)

[1] 本稿の内容は、おもに以下の文献と講演動画に基づいています。

D. Boehr & B. Bushman. Preparing for the Future: National Library of Medicine’s® Project to Add MeSH® RDF URIs to its Bibliographic and Authority Records. *Cataloging & Classification Quarterly*. 2017. <https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/01639374.2017.1382642>, (参照 2018-01-26).

Sharon Willis. Augmenting Catalog Data with MeSH URIs: NLM Linked Data Project. 2017. [https://www.nlm.nih.gov/bsd/disted/video/mla\\_2017/bibframe.html](https://www.nlm.nih.gov/bsd/disted/video/mla_2017/bibframe.html), (参照 2018-01-26).

[2] RDF 形式の MeSH の詳細については、以下の URL をご覧ください。

U.S. National Library of Medicine. “Medical Subject Headings RDF”. <https://id.nlm.nih.gov/mesh/>, (参照 2018-01-26).

MeSH は、XML、ASCII、MARC、RDF の各形式によるダウンロードや、専用インターフェースによる検索・表示もで

きます。

U.S. National Library of Medicine. “Files Available to Download” .

<https://www.nlm.nih.gov/mesh/filelist.html>, (参照 2018-01-26).

U.S. National Library of Medicine. “MeSH Browser” . <https://meshb.nlm.nih.gov/search>, (参照 2018-01-26).

[3] MeSHのうち、書誌データで件名標目としておもに使われる用語は2種類あります。一つは“Descriptor”（統制語）と呼ばれるもので、“Anatomy”や“Mental Disorders”といった主題用語（主標目）と、文献や論文のジャンルや形式等を表す出版物のタイプ（“Government Publications”、“Abstracts”、“Review”等）、そして地名があります。もう一つは“Qualifiers”または“Subheadings”（副標目）と呼ばれ、主題をより具体的に表現するために主標目等と組み合わせて使用する副次的な標目です（“analysis”、“therapy”等）。MeSHの用語の種類の詳細は、以下のURLをご覧ください。

U.S. National Library of Medicine. “MeSH Record Types” .

[https://www.nlm.nih.gov/mesh/intro\\_record\\_types.html](https://www.nlm.nih.gov/mesh/intro_record_types.html), (参照 2018-01-26).

U.S. National Library of Medicine. “Use of MeSH in Cataloging” .

[https://www.nlm.nih.gov/tsd/cataloging/MeSH\\_CatPractices.html](https://www.nlm.nih.gov/tsd/cataloging/MeSH_CatPractices.html), (参照 2018-01-26).

[4] 脚注[1]の文献の図を基に筆者が加工。

[5] 脚注[1]の文献の図を基に筆者が加工。

## コラム:一生ケンメイ! (3) 件名と件名のつながり—言葉の地図の作り方

### 【はじめに】

「件名」にまつわるトピックをご紹介しますコラムの第3回です。今回は、件名と件名のつながりについて、NDLSH (国立国会図書館件名標目表) を例に紹介します。ちょっとややこしい話になりますが、この世界にはまるとなかなかなかおもしろいので、どうぞお付き合いください。

### 【「階層関係」と「関連関係」】

ひとくちに説明するのは難しいので、順を追っていきます。最初に図1をご覧ください。

詳細情報	グラフィカル表示
ID	00565279
典拠種別 <small>skos:inScheme</small>	普通件名
標目 <small>xlprefLabel</small>	果実酒
標目のローマ字読み <small>ndlitranscription@ja-Latn</small>	Kajitsushu
同義語 <small>xlatit:label</small>	Fruit wines
上位語 <small>skos:broader</small>	酒
下位語 <small>skos:narrower</small>	ワイン
関連語 <small>skos:related</small>	果実; ブランデー
分類記号 <small>skos:relatedMatch</small>	<a href="#">588.55</a> (NDC9); <a href="#">596.7</a> (NDC9); <a href="#">DL687</a> (NDLC); <a href="#">EF27</a> (NDLC); <a href="#">PA416</a> (NDLC)

図1 Web NDL Authorities 「果実酒」の詳細情報画面 (一部)

図1は、[Web NDL Authorities](#)の、[件名「果実酒」の詳細情報](#) (の一部) です[1]。今回のテーマである「件名と件名のつながり」が表れているのは、オレンジ色の枠内。上位語、下位語、関連語という項目に、何やら「果実酒」と関係のありそうな言葉が並んでいます。これらも件名です。まずは、項目名の意味からおおまかにご説明すると、次のようになります[2]。

#### (1) 上位語 (broader term)

より広い意味を持つ件名。「〇〇は△△の一種である」または「〇〇は△△の一部である」といえる時、△△に当

たるもの。(例:「タルト」は「洋菓子」の一種である→「洋菓子」は「タルト」の上位語)

(2) 下位語 (narrower term)

より限定された意味を持つ件名。「××は○○の一種である」または「××は○○の一部である」といえる時、××に当たるもの。(例:「夫婦」は「家族」の一部である→「夫婦」は「家族」の下位語)

(3) 関連語 (related term)

その件名から連想される件名。

つまるところ、「果実酒」は「酒」の一種なので、「酒」は「果実酒」の上位語です。ワインは果実酒の一種なので、「ワイン」は「果実酒」の下位語です。そして、果実酒の原料である「果実」や、果実酒を蒸留して作られる「ブランデー」は、「果実酒」の関連語となるのです。なんとも、おいしそうな並びですね。図にすると、こんな感じです (図2)。

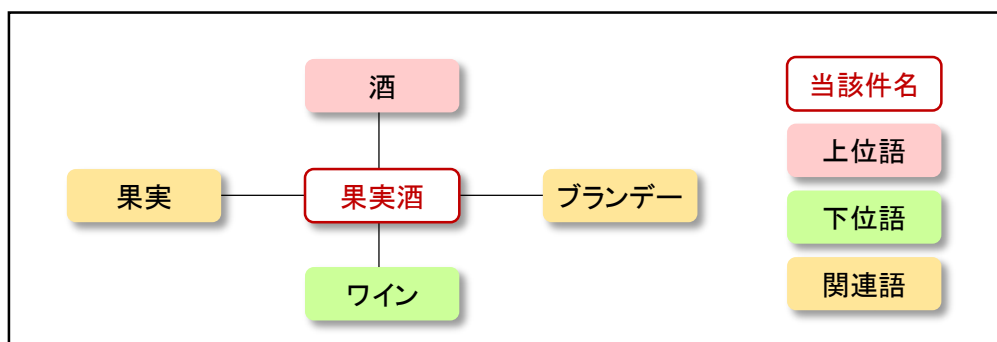


図2 「果実酒」の上位語・下位語・関連語

このタテの関係(上位語、下位語)を「階層関係」、ヨコの関係(関連語)を「関連関係」と呼びます[3]。ただし、関連語は、連想できれば何でもよいというわけではありません。たとえば、図3のように、2回以上連想したものを直接つなげてはいけません。

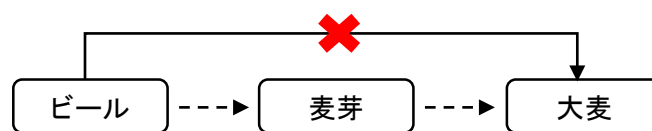


図3 2回以上の連想

また、主観的な連想もダメです。(芸術は爆発だ! =主観的な感じ方)



図4 主観的な連想

**【ちょっとだけ、クイズです】**

件名の「階層関係」と「関連関係」について、おわかりいただけましたか? それでは、ここで一つクイズです。図5の空欄には、どんな件名が入るでしょうか。



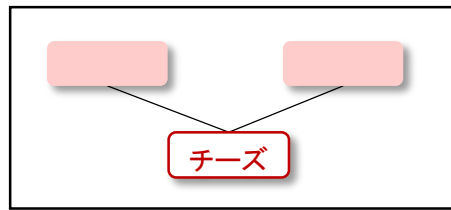


図5 「チーズ」の上位語

あれれ、チーズの上位語が二つありますね。両方思いつきますか？正解は、「乳製品」と「発酵食品」です。「ふふん、カンタンすぎるわ。」という方には、もう一つクイズです。ほかに、同じように「乳製品」と「発酵食品」の二つの上位語を持つ件名は何でしょう？正解は、ヨーグルトです（図6）。

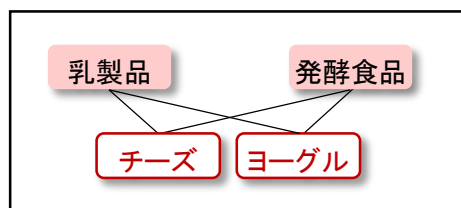


図6 「乳製品」と「発酵食品」の二つを上位語に持つ件名

図6のように、ある件名の上位語や下位語は、1語だけとは限りません。広範な概念ほど結び付く語は多くなり、たとえば「[哲学](#)」という件名の上位語、下位語、関連語は、「人文科学」や「構造主義」など、あわせて36語にのびります[4]。

**【広がる網目】**

なんだか細かい話が続きましたが、実はこの「階層関係」と「関連関係」によって、とてもスケールの大きな件名の世界が作られているのです。

下の図7をご覧ください。これは、「果実酒」の上位語「酒」を中心に、階層・関連関係でつながる件名を展開したものです。

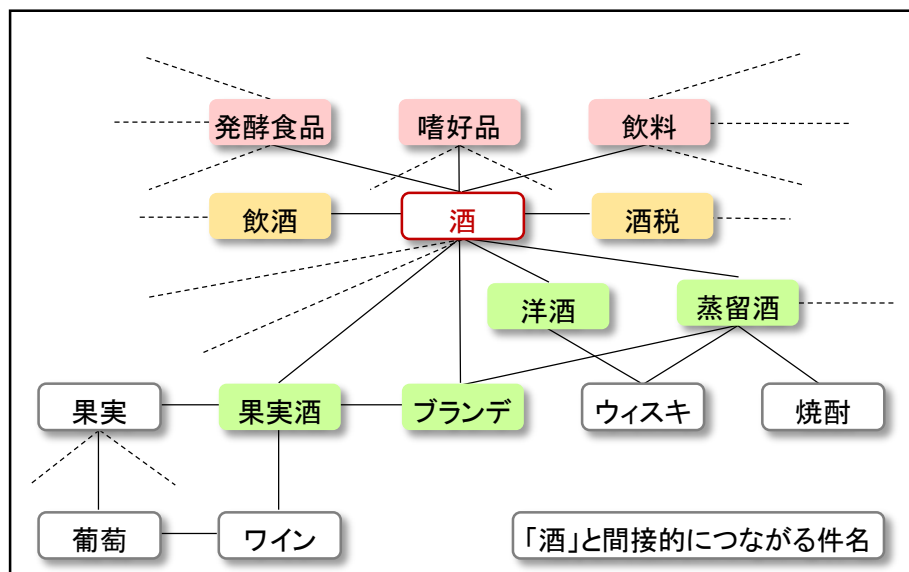


図7 「酒」とつながる件名

「酒」の上位語、下位語、関連語それぞれにまた上位語、下位語、関連語があって、それらにもまたさらに…。こうして、件名と件名のつながりは飲料のカテゴリにとどまらず、租税や食品、農作物にまで伸びていきます。スペースの都合上、件名つながりの全体をここに載せることはできませんが、点線の先にどのような件名があるか、考えてみるとワクワクしませんか？こうして、NDLSHに収録される約20,000件[5]もの件名は、その多くが網の目のように相互につながっているのです。

Web NDL Authoritiesの「酒」の詳細画面で「グラフィカル表示」をクリックすると、図8のようにこの網の目をたどって行くことができます。個々の件名をクリックすると、そのグラフィカル表示へと飛びます。なかなか楽しいので、よろしければ試してみてください。

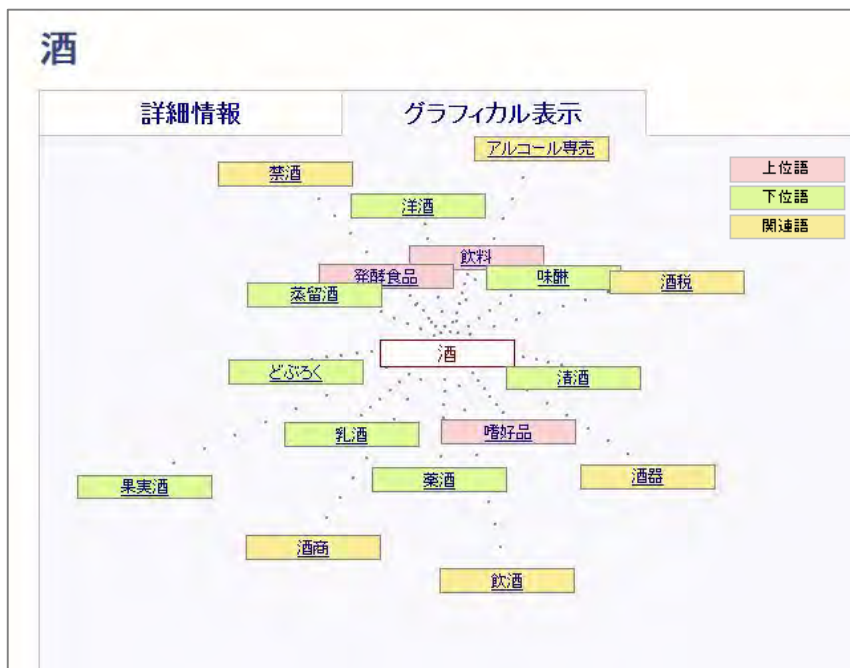


図8 「酒」のグラフィカル表示

### 【言葉の地図を作る】

こうして、個々の件名が「階層関係」と「関連関係」によってつながっているからこそ、私たちは、いま検索している語がどのような意味を持つのか、より正確に理解することができます。それは、たとえばある建物の前に立った時、間近に見るだけでは、それが都市全体の中でどのような役割を果たしているのか知ることができないのと似ています。道路や建物の配置を示す地図を見て、都市全体の成り立ちを理解して初めて、個々の建物の意義を知ることができるように、件名も、他の件名との関係が理解できてこそ、その先の検索へとつなげていくことができます[6]。そのための、いわば言葉の地図を作る作業が、件名関係性の構築なのです…というのは、ちょっとかっこつけすぎでしょうか。

### 【どこまでも続くメンテナンス】

「階層関係」と「関連関係」を検討して、個々の件名をいったん網目の中に組み込んでしまったら、それでもう安心!…とはなりません。なぜならば、日々、新しい件名は生まれますし、また、そもそも言葉は時にその意味を変えていくこともあるため、それに対応して、常に件名同士の関係は見直されなければならないからです。

件名新設や件名付与作業の際には、言葉の意味や図書の主題をしっかりと把握するために、参考図書類を頻繁

に使用します。下の写真(図9)は、筆者が目録作業を行っている事務室にある、使用頻度の高い参考図書を集めた棚ですが、これはほんの一部にすぎません。さらに、これらを参照した上でもなお、情報が不足している場合は、専門室[7]まで足を運んで調べることも。このようなメンテナンスを日頃から行うことで、街が発展すれば地図も変わっていくように、言葉の地図が時代を反映したものになっていきます。



図9 たくさんの参考図書類(ほんの一部)

#### 【おわりに】

日々変化していく件名たちをどのように関係づけているのか、大まかながら説明させていただきましたが、いかがだったでしょうか。興味を持たれた方は、ぜひ、好きな件名を一つ選んで、「階層関係」や「関連関係」をどんどんたどって試してみてください。どこまでも広がっていく言葉の地図に、きっとワクワクすると思います[8]。

大久保 玲

(おおくぼ れい 国内資料課)

[1] [Web NDL Authorities](#) については、本誌2014年1号(通号28号)のコラムで詳しく紹介しています。

国立国会図書館収集・書誌調整課書誌調整係. コラム: 書誌データ利活用(3) —Web NDL Authorities(国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス).

[http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_8436034\\_po\\_2014\\_1.pdf?contentNo=1#page=12](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8436034_po_2014_1.pdf?contentNo=1#page=12), (参照 2018-01-26).

[2] 当館における「上位語」、「下位語」、「関連語」の詳細な決定方法は、以下をご覧ください。

“普通件名「をも見よ」参照(上位語・下位語・関連語)”. 国立国会図書館件名作業指針 2017年7月. 国立国会図書館収集書誌部, 2017, (p. 48-59). [http://www.ndl.go.jp/jp/data/subj\\_manual1707.pdf](http://www.ndl.go.jp/jp/data/subj_manual1707.pdf), (参照 2018-01-29).

また、NDSLHにおけるこのような仕組みは、シソーラスで一般的に使われている方式を準用したものです。

国立国会図書館. “書誌データ作成ツール：分類・件名(NDLC、NDLSHなど)”.

[http://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification\\_subject/ndlsh.html](http://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification_subject/ndlsh.html), (参照 2018-01-25).

[3] 『図書館情報学用語辞典 第4版』で以下のように定義されています。

階層関係：シソーラスにおけるディスクリプタ間関係の一種。クラスとメンバー、全体と部分といった関係で、  
種類関係、全体部分関係、例示関係の三つが含まれる。(後略)

関連関係：シソーラスにおけるディスクリプタ間関係の一種。二つのディスクリプタが表す概念が、階層的でない関連性を持ち、シソーラス中でそれを表示することが索引作成者、検索者に有益な情報をもたらすと思われる場合に結ばれる関係。関連関係は、「ラバ」と「ロバ」のようにディスクリプタが同一のカテゴリーに属する場合と、「植物」と「植物学」あるいは「温度」と「温度計」のように異なるカテゴリーに属する場合の2種類に分けられる。(後略)

日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第4版, 丸善出版, 2013.

[4] 2018年1月25日時点。

[5] NDLSHのうち、細目付きのものを除いた件数(2018年2月現在)。ただし、一部の細目付き地名件名は含みません。

なお、細目については、本誌2016年1号(通号36号)のコラムで詳しく紹介しています。

境野由美子. コラム：一生ケンメイ！(1)主題細目「復興」「被災者支援」.

[http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_9910646\\_po\\_2016\\_1.pdf?contentNo=1#page=28](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_9910646_po_2016_1.pdf?contentNo=1#page=28), (参照 2018-02-20).

[6] [Web NDL Authorities](#)では、詳細画面から国立国会図書館サーチを通じて、その件名が付与されている書誌データを検索することができます。ただし、検索できるのは、当館所蔵資料に限ります。

[7] 科学技術・経済情報室、人文総合情報室、地図室など、各分野・媒体ごとに特色ある資料を集めた、当館内にある[資料室](#)のこと。

[8] 当館が作成する典拠データおよびWeb NDL Authoritiesの役割の一つである「つなげる」については、以下の記事および本誌2015年1号(通号32号)のコラムで詳しく紹介しています。

木下竜馬. What's 書誌調整ふたたび 第4回 典拠は大切—Web NDL Authorities を使ってみよう！—(後編).

国立国会図書館月報. 2016. 1, (657), p. 14-16.

[http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_9578225\\_po\\_geppo1601.pdf?contentNo=1&alternativeNo=#page=16](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_9578225_po_geppo1601.pdf?contentNo=1&alternativeNo=#page=16), (参照 2018-01-29).

柴田洋子. コラム：書誌データ利活用(6)—Web NDL Authorities 解説講座 その1—ウェブでつながる典拠データ. [http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_9103524\\_po\\_2015\\_1.pdf?contentNo=1#page=15](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_9103524_po_2015_1.pdf?contentNo=1#page=15), (参照 2018-01-25).

## コラム:書誌データ利活用(13)—NDL-Bib を始めました!!

### 【はじめに】

2018年1月から、[国立国会図書館書誌提供サービス \(NDL-Bib\)](#) が始まりました。

このサービスは、昨年まで NDL-OPAC で提供していた、当館の書誌データをダウンロードする機能を継承しています。今回のコラムでは、NDL-Bib からダウンロードできる 6 種類のファイルの概要と利用方法について紹介します。

図 1 は、6 種類のファイルを[ダウンロードする画面](#)です。パソコン等の環境にもよりますが、一回に最大 5,000 件までダウンロードできます。文字コードは、Unicode/UTF-8 または SHIFT-JIS を選択できます。ダウンロードするファイルはすべてテキスト形式ですので、テキストエディタ (メモ帳、Mery など) で表示し、簡単に加工できます。

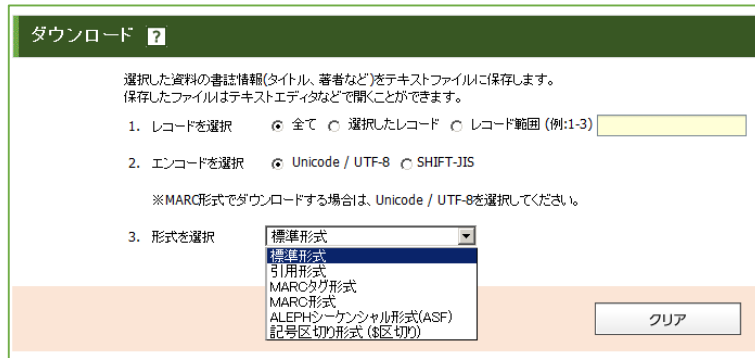


図 1 ダウンロード画面

### 【標準形式】

標準形式のファイルは、[書誌情報画面](#)において標準形式の表示内容をそのままダウンロードしたようなファイルです (図 2 参照)。表示画面と同様に、日本語の見出しが冒頭に付いていますので、ダウンロードしたファイルの内容もわかりやすくなっています。

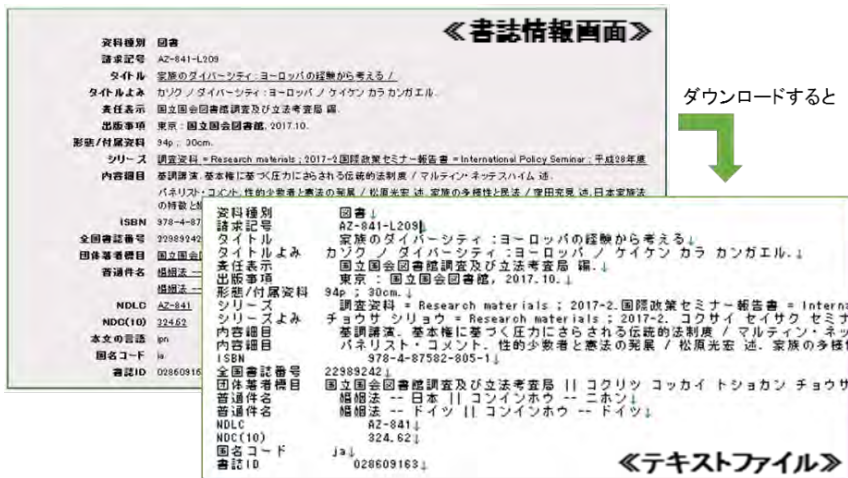


図 2 書誌情報画面 (標準形式) とダウンロードしたファイル

**【引用形式】**

引用形式のファイルは、[書誌情報画面](#)の引用形式の表示をそのままダウンロードしたようなファイルです(図3参照)。引用文献や参考文献のリスト作成の際に、そのまま、または少し加工してご利用いただけます。



図3 書誌情報画面(引用形式)とダウンロードしたファイル

**【MARC タグ形式/MARC 形式】**

MARC タグ形式のファイルは、[書誌情報画面](#)において MARC タグ形式の表示をそのままダウンロードしたようなファイルです(図4参照)。表示されるタグは、[JAPAN/MARC MARC 21 フォーマット](#)に準拠しています。ちなみに、図4中の「880」のタグは、タイトルや出版者等のカタカナよみやローマ字よみで使用しています。



図4 書誌情報画面(MARC タグ形式)とダウンロードしたファイル

また、MARC 形式 (ISO 10646) のファイルは、以下の図5のようなファイルです。MARC 形式のファイルを取り込む機能を実装した図書館システムで使われる形式です。

```
02538cam a2200409zi 450000100100000000300060001000500170001600700030003300800410
00360150018000770200022000950400032001170840017001430840019001660900016001852450
14300201280005500344300001700399490014300416505013100553505020700690650004700897
65000500094471000710099488001110106588000720117688000870124888000610133588001930
1396880014501589880005501734880004101788800042018308800055018728800122019278800
07902049 028609163 JTNDL 20180104165341.0 ta 171108s2017 ja |||||g |||||f|||||
jpn a22989242 2jnb a978-4-87582-805-1 aJTNDL bjpn cJTNDL encr/1987
aAZ-841 2kktb a324.62 2jnb/10 aAZ-841-L203 00 6880-01 a家族のダイバーシテ
イ : bヨーロッパの経験から考える / c国立国会図書館調査及び立法考査局 編. 6880
-02 a東京 : b国立国会図書館, c2017.10. a94p ; c30cm. 0 6880-03 a調査資料 = a
Research materials ; v2017-2. a国際政策セミナー報告書 = aInternational Policy Se
minar ; v平成28年度 00 t基調講演. t基本権に基づく圧力にさらされる伝統的法制度 /
rマルティン・ネッテスハイム 述. 00 tパネリスト・コメント. t性的少数者と憲法の発
展 / r松原光宏 述. t家族の多様性と民法 / r望田充見 述. t日本家族法の特徴と婚姻の
行方 / r水野紀子 述. 7 6880-04 a婚姻法 z日本 2ndish 000944635 7 6880-05 a婚姻
```

図 5 MARC 形式 (ISO 10646) でダウンロードしたファイル  
(テキストエディタの指定文字数で折り返した状態)

**【Aleph シーケンシャル形式 (ASF)】**

Ex Liblis 社の統合図書館システムである [Aleph システム](#)に対応したデータ形式のファイルです (図 6 参照)。

フォーマットは、図 4 の MARC タグ形式と似ているように見えますが、MARC 21 のタグの直前に 9 ケタの数字 (システム番号) があり、同じシステム番号のタグは同じ書誌データであることを表しているところが大きな違いです。

```
028165894 AK710 L $$$aコクリツ コッカイトショカン カンライカン$$$b国立国会図書館関西館
028165894 T245Y L $$$b01$$$aコクリツ コッカイトショカン セイサク ロクオン トショ モクロク$$$bテンジ
028547488 FMT L GE+
028547488 LDR L 00000cam^a22^****zi^4500+
028547488 001 L 028547488+
028547488 003 L JTNDL+
028547488 005 L 20171016164421.0+
028547488 007 L ta+
028547488 008 L 171011s2017^***ja^||||g^||||f|||||jpn^^+
028547488 015 L $$$a22955213$$$2jnb+
028547488 040 L $$$aJTNDL$$$bjpn$$$cJTNDL$$$encr/1987+
028547488 084 L $$$aY111$$$2kktb+
028547488 090 L $$$aY111-L3790+
028547488 24500 L $$$b6880-01$$$a挿絵の世界 : $$$b国立国会図書館平成29年度企画展示 / $$$c国立国会図書館 編
028547488 260 L $$$b6880-02$$$a東京 : $$$b国立国会図書館, $$$c2017.10.+
028547488 300 L $$$a11p ; $$$c21cm.+
028547488 88000 L $$$b6245-01/1$$$aサシエ ノ セカイ : $$$bコクリツ コッカイトショカン ヘイセイ 29ネン
028547488 88000 L $$$b6245-01/(B$$$aSashie no sekai : $$$bkokuritsu kokkai toshokan heisei 29nendo kikal
028547488 880 L $$$b6260-02/1$$$aトウキョウ : $$$bコクリツ コッカイトショカン, $$$c2017.10.+
028547488 880 L $$$b6260-02/(B$$$aTokyo : $$$bkokuritsu kokkai toshokan, $$$c2017.10.+
028547488 TYPJ L $$$a図書+
028547488 TYPE L $$$aMonograph+
028547488 AUD L g+
028547488 PUBCN L ja+
028547488 T245 L $$$b01$$$a挿絵の世界 : $$$b国立国会図書館平成29年度企画展示+
028547488 A245 L $$$b01$$$c国立国会図書館 編.+
028547488 T245Y L $$$b01$$$aサシエ ノ セカイ : $$$bコクリツ コッカイトショカン ヘイセイ 29ネンド キカ
028002862 FMT L GE+
028002862 LDR L 00000cam^a22^****zi^4500+
028002862 001 L 028002862+
028002862 003 L JTNDL+
028002862 005 L 20170905114149.0+
028002862 007 L ta+
```

同じ番号は同一書誌データ

図 6 Aleph シーケンシャル形式でダウンロードしたファイル

**【記号区切り形式 (\$ 区切り)】**

記号区切り形式のファイル (図 7 参照) は、Excel などの表計算ソフトで表示することができます。  
テキストエディタ等の機能を利用し、ファイル中のレコード No. や不要な改行などを変換処理してから Excel などに取り込んで利用していただくことをおすすめします。記号区切り形式のファイルの加工方法は、[平成 29](#)





## お知らせ:平成 29 年度書誌調整連絡会議を開催しました

国立国会図書館は、2018年1月18日に平成29年度書誌調整連絡会議を開催しました。この会議は、国内外の書誌調整に関する最新情報を広く関係者・関係機関等と共有することを目的とし、毎年行われています。今年度は、「新しい目録規則は何をもたらすか：フランスと日本の書誌データ」をテーマに、フランス国立図書館（BnF）のヴァンサン・ブレ（Vincent Boulet）氏をお招きして開催しました。会議は一般に公開し、約90名が参加しました。



会場の様子

はじめに、フランスにおける新しい目録規則“RDA-FR”等の動向について、ブレ氏が講演しました。つぎに、日本図書館協会目録委員会と当館が連携して策定に取り組んでいる「[日本目録規則 2018年版](#)」（仮称）（以下、NCR2018といたします）について、渡邊隆弘氏（日本図書館協会目録委員会委員長・帝塚山学院大学教授）が概要と意義を、当館からはその適用に向けた取組み状況を、それぞれ発表しました。

ブレ氏からは、BnFがフランス高等教育書誌センター（Agence bibliographique de l'enseignement supérieur: ABES）と進めている「[書誌移行](#)」（Transition bibliographique）計画の概要が紹介されました。特に、著作の典拠データと体现形のデータ（書誌データに相当）のリンクの自動生成等によるFRBRに基づいたデータの構造化や、現在、RDAにフランス固有の事情を反映させた目録規則として検討が進められている“RDA-FR”の状況等について発表がありました。渡邊氏からは、NCR2018の策定状況や基本方針、全体構成等が説明された後、三つの特徴（FRBRを基盤とすること、RDAとの相互運用性の担保、日本の事情の反映等）が示されました。当館からは、NCR2018の適用細則の検討状況と、想定されるデータ事例について報告しました。

最後に、参加者から、“RDA-FR”に基づき作成された書誌データの国際的な相互運用性や、出版者等のコミュニティとの連携状況、これらのコミュニティへのBnFからの働きかけの有無等について質問が寄せられました。

RDAは、おもに英米で普及している目録規則です。それに対して、フランスと日本では、RDAとの相互運用性

も考慮しながら、FRBRを基盤とし、自国の事情をふまえた規則を検討しているという共通点があることを、改めて確認できました。そして、ウェブにおける書誌データの再利用や連携を進める中で、図書館が今後果たすべき使命や課題について、参加者間で共有することができました。こうした状況をふまえながら、当館では、NCR2018の適用に向け、引き続き検討を進めていく予定です。

会議の概要と資料については、当館ホームページの「[平成29年度書誌調整連絡会議報告](#)」のページに掲載しています。

(収集・書誌調整課)

## 掲載情報紹介

2017年12月26日～2018年3月26日に、国立国会図書館ホームページに掲載した書誌情報に関するコンテンツをご紹介します。

- ・ [「全国書誌データ提供に関するパンフレット」](#)を更新しました。  
(掲載日：3月15日)
- ・ [「全国書誌データ提供」](#)のページを更新しました。  
(掲載日：3月13日)
- ・ [「国立国会図書館書誌データ対応システム一覧」](#)を更新しました。  
(掲載日：3月13日)
- ・ [雑誌記事索引採録誌一覧](#)を更新しました。  
(掲載日：3月6日)
- ・ [「平成29年度書誌調整連絡会議報告\(概要\)と過去の会議一覧](#)を掲載しました。」  
(掲載日：2月27日)
- ・ [「国立国会図書館書誌データ対応システム一覧」](#)を更新しました。  
(掲載日：1月12日)

**NDL 書誌情報ニューズレター (年4回刊)**

2018年1号(通号44号) 2018年3月27日発行

編集 国立国会図書館収集書誌部

発行 国立国会図書館

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1

E-mail: [bib-news@ndl.go.jp](mailto:bib-news@ndl.go.jp) (ニューズレター編集担当)